

教育学の新スタイル。

探究①桜美林

発信する好奇心。

教育探究科学群  
2023年4月開設予定

※設置構想準備中

社会が急速に変化するなかで、  
教育のカタチも大きく変わっています。

教育は多様化し、  
新たな教育支援機関や教員以外でも教育を支える機会が増加。  
これまでの教育の枠にとらわれない人材が求められています。

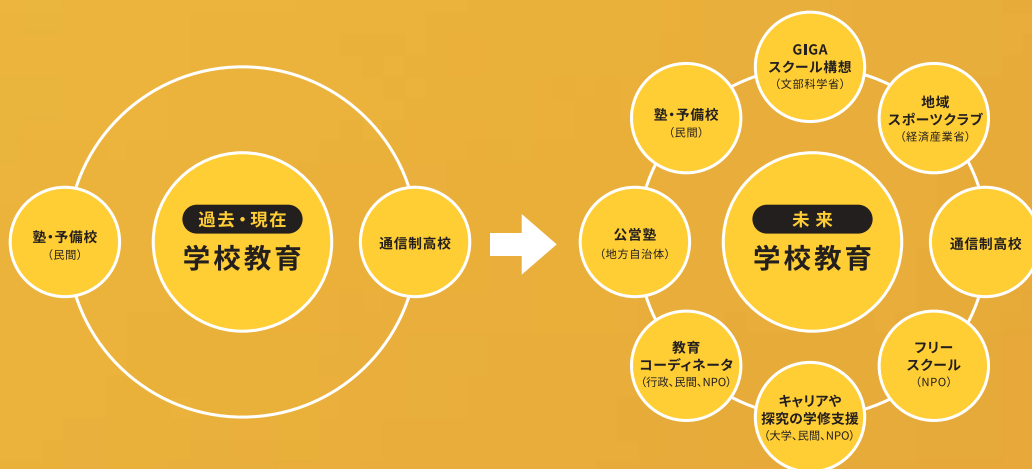
このような時代に対応できる力を育むために、  
新しいスタイルの学群が生まれます。  
教育学の知見と実践を通して、人の成長や豊かな社会の在り方を探る。  
そして、今の時代に合った方法で発信し、  
より良い未来へ導いていく。

さあ、教育学をもっと世の中に活かし、  
人と社会と共に自分も成長しよう。



## [ 教育の多様化 ]

ここ数年で、教育現場を取り巻く環境は大きく変化しました。先生以外のさまざまな人たちが教育に関わるようになり、学生の学びや体験を支援する場も増えています。



### 教育探究科学群のポリシー

#### アドミッションポリシー

好奇心からはじまる教育探究科学群の学び

教育探究科学群は、これまでの学校教育の中で、教育に対する興味関心、あるいは疑問を持ったことがある人と一緒に「教えて、学ぶ」を実践していきたいと考えています。

#### ディプロマポリシー

ヒト・コト・モノをつなげられる人に共創型ファシリテーターという考え方  
共創型ファシリテーターは、社会や人々の前向きな気持ちを教育の視点で考え、人と人をつなぐ専門家であり、教育を通じて社会を良くしていくために必要な人です。



# Features [ 6つの特長 ]

教育学的視点と学術に裏打ちされた高度なリサーチ手法により、実践的なカリキュラムを掛け合わせます。

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p><b>1</b> 全てのはじまりは好奇心</p> <p>ゼミ、国内外のフィールドワーク、日々の授業、全ては好奇心からはじまり、自己変革力と発信力を高めています。</p>          |                      | <p><b>4</b> リアル×デジタルのハイブリッド型学修</p> <p>テクノロジーを用いたオンライン学修と、教室での学修の良さを組み合わせ、Society 5.0の社会に適した学びを可能にします。</p>    |       |
|                 | <p><b>2</b> 教職課程のない新しい教育学</p> <p>学校以外の社会のあらゆるところに教育的活動が存在するという考えから、全ての人に必要な「教えると学ぶ」を継続する力を身に付けます。</p> |                            | <p><b>5</b> 「教えて、学ぶ」ピア・ラーニング</p> <p>高校までの先生から教わる学びだけでなく、学生同士が教え合い、学びあうことで学習を進めていきます。</p> |
| <p><b>3</b> どこでも使えるリサーチ・スキル</p> <p>学術研究能力だけでなく、いつでもどこでも使えるリサーチのスキルを、調査法や研究方法論の体系的な学びから修得します。</p> |                     | <p><b>6</b> あらゆるところで実践していく教育活動</p> <p>自らが教育の担い手として、バンクーバー(カナダ)や沖縄などの遠方を訪れフィールドワークを行い、さまざまな形で教育に関わっていきます。</p> |      |

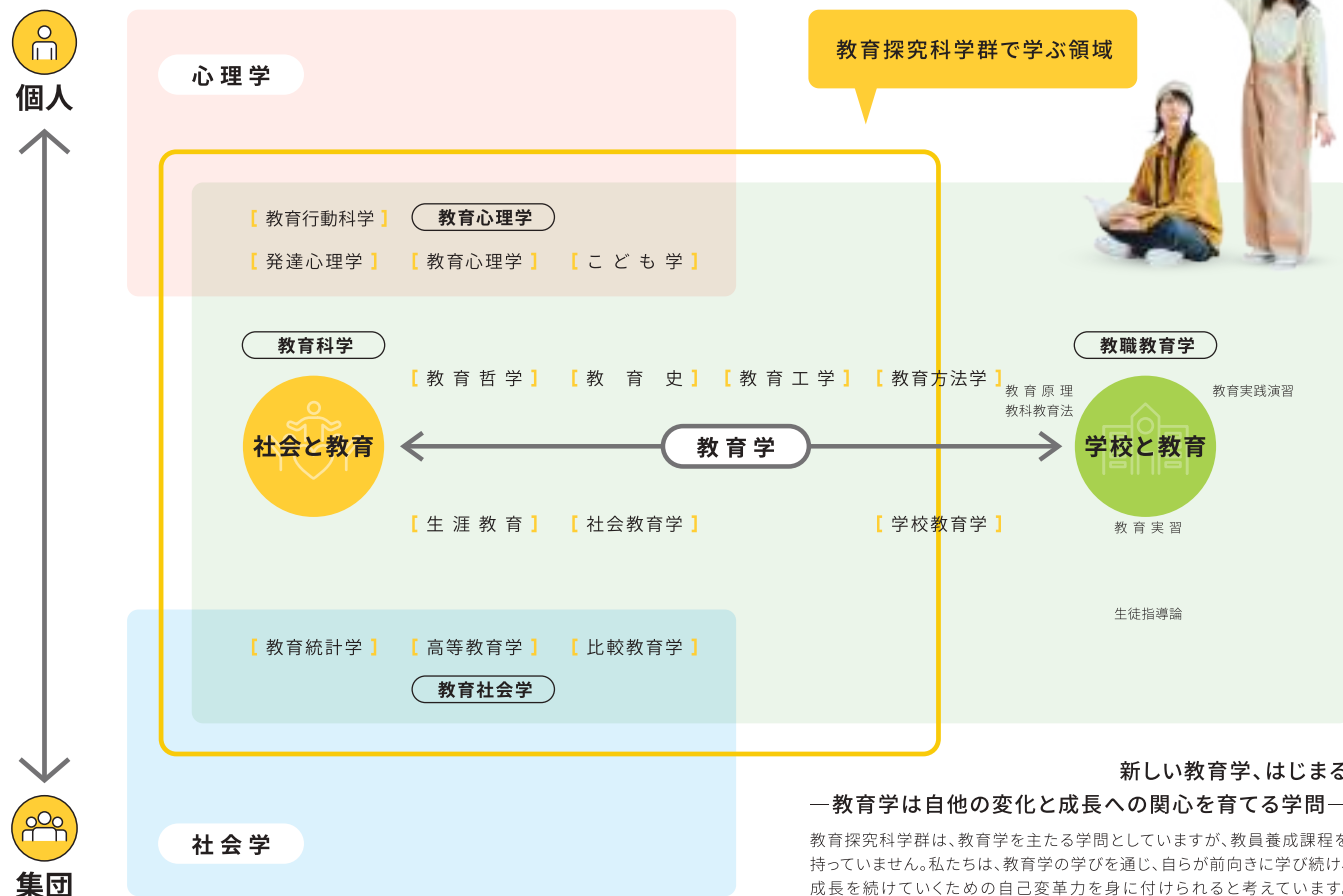
# Curriculum [ カリキュラム ]

教育探究科学群では、好奇心と探究科学に基づく自己変革力と、周

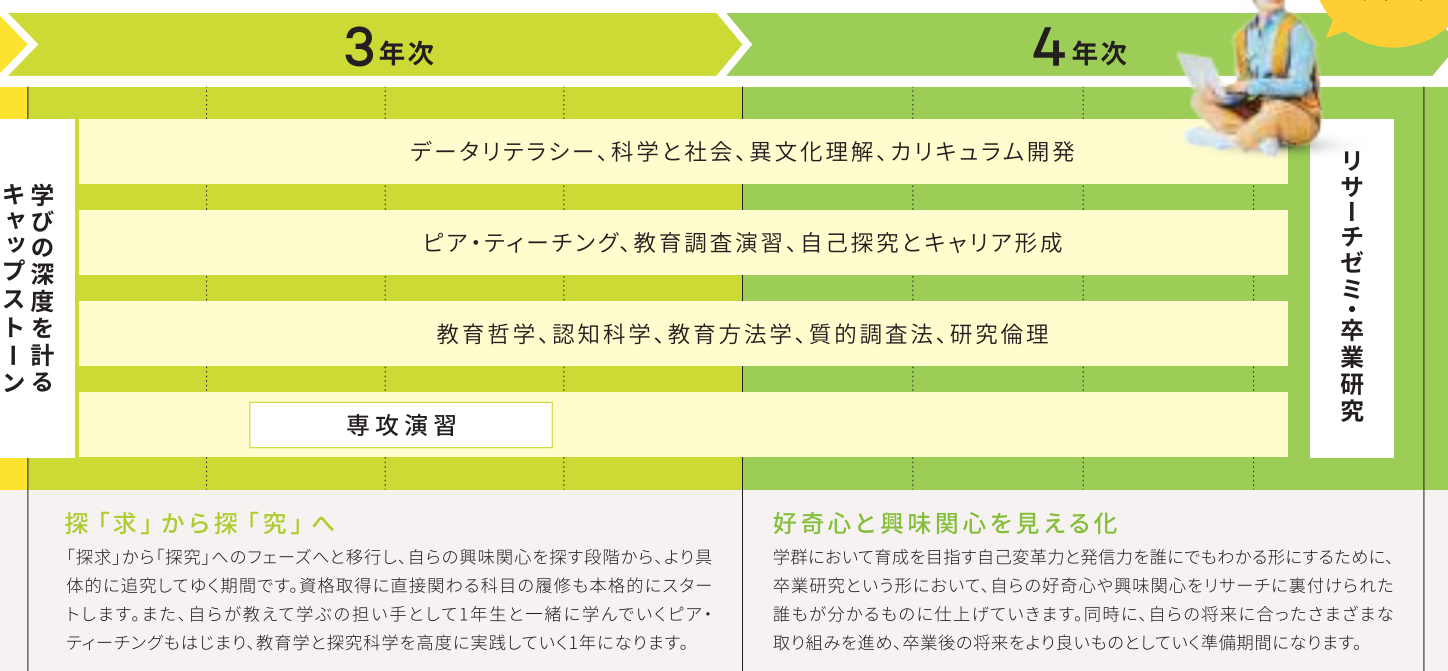
|            | 1年次  | 2年次   |
|------------|--|---|
| 実践的・体系的な学び |  | <p>視野を広げる関連プログラム</p> <p>日本の中の異文化、階層格差等</p>  |
|            |  | <p>実践的な演習、実習プログラム</p> <p>ピア・ラーニング、社会文化研究</p>  |
|            | <p>学び方を学ぶ教育学</p> <p>教育探究の世界、教育学入門</p>  | <p>教育統計法、教育学入門</p>  |
|            | <p>4年間を通じたゼミ</p> <p>基礎ゼミナール</p>  | <p>基礎ゼミナール</p>  |
| 4年間の流れ     | <p>高校生活のブレイクスルー</p> <p>これまでの高校生活をブレイクスルーし、教育探究科学群の持つ文化と価値観を共有する時間になります。自らの興味関心の探究と、「教えて学ぶ」の実践に必要な教育的な知識やスキルを実践的な活動をしつつ学んでいきます。</p> | <p>教えて学ぶの実践</p> <p>自らの好奇心や興味関心と1年次に修得した知識やスキルを合わせ、「教えて学ぶ」を国内外で実践し、自らの発信力を高めていきます。また、2年次の最終クォーターにおいては、「CAPSTONE」と称される科目を履修し、今後続くより高度な専門性の高い学びを進められる能力を示すことが求められます。</p> |

# Dicipline [学ぶ領域]

教育探究科学群では、教育学社会学と教育心理学を中心に、教育学とその周辺領域を学んでいきます。



りの良い変化を促す発信力を高める「教えて学ぶ」という教育学的学びを実践していきます。



# Fieldwork [ 実習先 ]

キャンパスは  
世界中に!



教育探究科学群の学び、「教えて、学ぶ」と「探究科学」は場所を選びません。



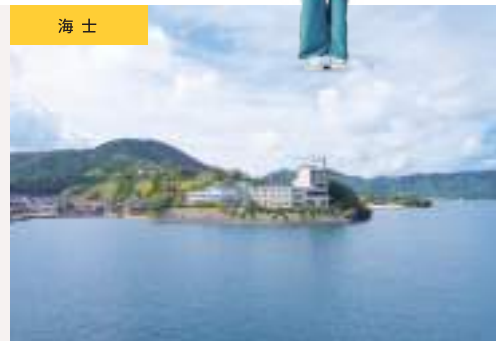
沖縄

## 国内での 「教えて、学ぶ」と教育実践

1年次には、大学外での実践活動の第一歩として、日本の中にありながら、異なる文化と多様性を有する沖縄において、教育活動の支援やさまざまな教育実践を行います。

## 海外での 「教えて、学ぶ」と教育実践

多文化共生主義の根付くカナダのバンクーバー州において、現地に滞在する専任教員の運営するプログラムに参加し、「教育を通じて社会を良くする」はどこでも出来ることを体験します。



海士



バンクーバー

## 自らの好奇心に基づき 広がるフィールドワーク

教育探究科学群では、学生の皆さんの好奇心に基づき、自らの学びをデザインできます。実習先についても、学群の提供する場所を選ぶだけでなく、自分自身で探し、計画し、実行することも可能です。

# Suitability [ こんな人に向いています ]

教室での学びだけじゃ  
**全然  
物足りない人**



教室内の講義だけでなく教室外で体験型学修がしたい、社会で本当に使える力を身に付けたいと思っている人!

人の成長の仕組みを知り  
**自分や他人を  
変えたい人**



人間の成長や豊かな社会のあり方に興味があって、それをさらに探究して広めていきたいと思っている人!

感性だけでなく  
**理性でも  
行動したい人**



データを集めるのが好きで分析や解釈するためのデータリテラシーを高めたいと思っている人!

グローバルな視点で  
**自分の考えを  
発信したい人**



ただの会話ではなく海外での発信もしてみたいと思っていたり、そういった英語プログラムに興味がある人!

## 卒業後の進路の例

本学群で身に付く、実践に裏打ちされる主体性とデータリテラシースキルを基礎に幅広い業界での活躍をめざします。

教育関連業界

NGO・行政・社会起業家

企業の人材育成・教育部門

## 取得可能な資格

人や地域のつながりをつくる「社会教育士」や、リサーチスキルを確かなものとする「社会調査士」を取得できます。

社会調査士

社会教育士

# Teachers [ 教員紹介 ]

好奇心を刺激し、可能性を広げるー「教育をしない」という教育学の新スタイル



KOBAYASHI

教育探究科学群長

**小林 雅之** KOBAYASHI, Masayuki

教育探究科学群は、学生がお互いに「教えて、学ぶ」をコンセプトに、教員養成課程とは異なる大学の新たな教育学の在り方を提示する教育組織です。予測困難な社会に求められる好奇心や探究心を、探究科学の手法の獲得を通じて身に付け、社会に通じる確かなリサーチスキルを修得していきます。若手の教職員を中心に新学群作りがなされ、さまざまな新しい試みをするのが大きな特徴です。私は、学群長として、教育探究科学群に関わる教職員、そして学生の皆さんの成長を支え、学群の目標である「教育を通じて社会に貢献する人の育成」の到達を目指していきます。

Profile

東京大学大学院教育学研究科修了、博士(教育学)。広島修道大学助教授、東京大学大学院総合教育研究センター教授等を経て現職。東京大学名誉教授。日本高等教育学会会長、文部科学省中央教育審議会臨時委員、衆議院調査局客員研究員他。

教育探究科学群 准教授

**山崎 慎一** YAMAZAKI, Shinichi

「なぜ教育は面白くないのか。」これは自分自身が大学生の時に感じた疑問であり、教育に対する興味関心を持った出発点でもあります。その気持ちのもと、大学院で大学や高等教育のことを学び、学生団体ASPIREのコーディネーターとしてさまざまな教育プログラムの開発を経て今に至っています。教育探究科学群における学びは、学生さんの好奇心と主体性から全てが始まります。これが、私が大学生の時に頂いた疑問に対する答えです。教育に対し、肯定的でも否定的でも、そこに興味関心と疑問があれば、教育探究科学群は人生を変える場所になります。

Profile

桜美林大学経営政策学部、大学院大学アドミニストレーション専攻(修士課程)、国際学研究科(博士課程)修了後、桜美林大学にて学生団体ASPIREのチーフコーディネーターなどを務める。教育探究科学群では学類長に就任予定。1982年生まれ。



YAMAZAKI

SUPPORTED BY **ASPIRE**

教育探究科学群では、ASPIRE出身者がTA\*として教育をサポートします。



**飛澤 結海さん**

大学院国際学術研究科

私達は、未知を楽しむお手伝いをします。皆さんと教育探究科学群に存在するヒト・モノ・コトをつなげ、これまで想像もしてなかったものが現れるその瞬間を創ります。



**太田 美風さん**

大学院国際学術研究科

これまで様々な教育プログラムの企画立案をしてきましたが、その時に一番大事にしていたのは主体性です。主体的に発信し、共感を生み、それが更なる変化と成長につながります。



**青木 心吾さん**

大学院国際学術研究科

自分の意見を言うことは簡単ではありません。しかし、ASPIREにおける学びは、否定ではなくまず肯定からはじまります。「自分の意見を言っても良い」というカルチャーがここにはあります。

国連と世界の大学を結ぶUnited Nations Academic Impact (UNAI) において、国内外の大学生間連携を促すプログラムとして、2010年より始めました。ASPIREはさまざまな大学にある学生団体であり、個別大学での活動と同時に、主に国際的な舞台ではASPIRE JAPANとして大学の枠を超えて協働します。また、ASPIREは学生の成長のためのさまざまなプロジェクトの総称でもあります。



\*ティーチングアシスタント

## Event Information

### OPEN CAMPUS

2022 **3/20** SUN

2022 **6/12** SUN

2022 **7/24** SUN

2022 **8/7** SUN **8** MON

2022 **8/28** SUN

2023 **3/19** SUN

※学群別OPEN CAMPUS

### 探究プレゼミで、未知を楽しみ、冒険しよう!

学群の学びを体験するプレゼミに参加しよう! 大学生とともに未知の課題を探究します。



01

#### 書類選考

あなたは普段、どんな興味関心を持っていますか? これからのように成長したいですか? 400文字ずつ提出してください。

02

#### ゼミへの参加 [オンラインのキャンパス]

書類選考を通過した高校生は、未知なる課題を探究。国連公認の学生団体ASPIRE\*の大学生が、グループワークをサポートします。

03

#### 最終発表

探究の成果をプレゼンテーションしよう。正解がない問いに、あなたならではの言葉を発信してください。

※桜美林大学が世界の拠点校として参加している「国連アカデミック・インパクト(United Nations Academic Impact)」の学生組織

特典

ひとりひとりに大学生からのメッセージが入った参加証を郵送

#### ディスカバ!

ディスカバ!について詳しくはこちら! ▶  
<https://discova.jp/>



#### MY PAGE+

MY PAGE+について詳しくはこちら! ▶  
<https://mypageplus.obirin.ac.jp/pt/web/obirin/MyPage/Index>



## Campus Information



### プラネット淵野辺キャンパス (PFC)

JR横浜線「淵野辺」駅北口に隣接したPFCは、近隣地域の皆さまに向けて桜美林エクステンション講座を開講し、地域とのコミュニケーションの拠点としての機能を備えています。1階には、充実した照明・音響機器を備えた「ブルヌスホール」があり、学生の実習や発表、市民参加型の公演などが行われています。

住 所: 〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺4-16-1  
アクセス: JR横浜線「淵野辺」駅下車、「淵野辺」駅より徒歩1分

